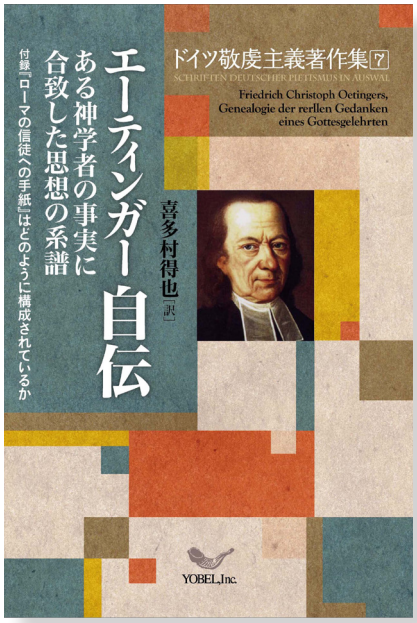
エーティンガー［著］喜多村得也［訳］

ドイツ敬虔主義著作集 ⑦ ［第 3 回配本］

自伝 ある神学者の事実に合致した思想の系譜

本邦初訳！

7 月 10 日刊行予定



四六判上製・304 頁・2,310 円（税込）
本体 2,100 円＋税 ISBN978-4-911054-06-2 C0016

自伝の白眉登場！

モラヴィア兄弟団を主導したツィンツェンドルフ伯爵、ユダヤ人カバラー学者コッペル•ヘヒト、視霊者スウェーデンボルクをはじめ、あまたの思想家との直截で物怖じしない交遊を通じて思索を重ね、次第に独自の神学へと到達し、最後には無邪気な子供のようになって生涯を閉じたといわれるエーティンガーによる自伝。

〈付録『ローマの信徒への手紙』はどのように構成されているか〉

主な目次

序文（J・レッスル）
ある神学者の事実に合致した思想の系譜
少年時代と生徒時代
ブラウボイレンの修道院付属学校にて
ベーベンハウゼンにて
霊感主義者との出会い
テュービンゲンの神学校にて
ヤーコブ・ベーメの著作を知る
哲学研究
教父およびラビの研究
第一次の旅行
神学校の補習教師として
第二次の旅行
故郷への帰還とヒルザウでの就職
シュナイトハイムとヴァルトドルフにて
ヴァインスベルクとヘレンベルクにて
ムルハルトの牧師監督長として
豊かな生活の終章
エーティンガーの生涯の重要年表
付録『ローマの信徒への手紙』はどのように構成されているか
解説／あとがき

ドイツ敬虔主義著作集全 10 巻

第 1 巻　シュペーナー『敬虔なる願望』佐藤貴史、金子晴勇訳
第 2 巻　シュペーナー『新しい人間』山下和也訳［好評既刊　第 2 回配本］3080 円
第 3 巻　シュペーナー『再生』金子晴勇訳
第 4 巻　フランケ『回心の開始と継続』菱刈晃夫訳
第 5 巻　ベンゲル『グノーモン』と『歩んだ道と言葉』金子晴勇訳
第 6 巻　ツィンツェンドルフ『福音的真理』金子晴勇訳［第 4 回配本予定］
第 7 巻　エーティンガー『自伝』喜多村得也訳［第 3 回配本］
第 8 巻　エーティンガー『聖なる哲学』喜多村得也訳［好評既刊　第 1 回配本］2200 円
第 9 巻　テルステーゲン『真理の道』金子晴勇訳
第 10 巻　ドイツ敬虔主義の研究

訳者紹介　**喜多村得也**（きたむら・とくや）　1944 年生まれ。1968 年早稲田大学卒業、1972 年早稲田大学大学院ドイツ文学修士。1971 年昭和大学講師、1978 年同大学助教授、1992 年同大学教授（2009 年まで）、同大学名誉教授。海外研修；1973 年チューリッヒ Euro-zentren にてドイツ語研修、1979 年西ドイツ Humboldt Institut にてドイツ語研修、1992 年ドイツ、Berlin Humboldt 大学国際ドイツ語教員ゼミナール研修、1996 年ドイツ、Kassel 大学言語文化研究所にて研修、他研修多数。2023 年逝去。
訳書：エーティンガー『聖なる哲学 —— キリスト教思想の精選集』、ヨベル、2023 年。**共訳**：カッシーラー遺稿集第一巻『象徴形式の形而上学のために』、法政大学出版局、2009 年。**論文**：「若きゲーテの宗教性について」（早大修士論文）1972 年、「聖書とゲーテ」序論、1973 年、「若いゲーテの宗教的探究と『牧師の手紙』について」1977 年、「ゲーテの宇宙発生論的神話」1985 年、「ゲーテ『旅人の夜の歌』考」1988 年、「宮崎駿監督作品『千と千尋の神隠し』における心のヨーロッパ」（最終講義）2008 年、以上昭和大学紀要、「芥川龍之介『藪の中』覚え書」、1977 年、同人誌雪崩、他多数。1997 年より小平福音集会を自宅にて開催（聖書を読む会、古典を読む会）。

ヨベル　YOBEL Inc.　〒 113-0033　東京都文京区本郷 4 - 1 - 1　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858　http://www.yobel.co.jp